

中心市街地に活気を取り戻せ!! 地場産品が並ぶ軽トラ朝市

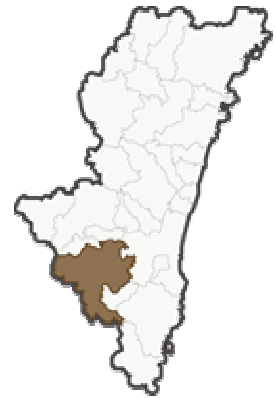
大型店の撤退等で人通りの少なくなった中心市街地に活気を取り戻すため、市内の通りを利用して全国でも珍しい軽トラックによる朝市を開催している。地元商工会議所を中心に、地域経済活性化協議会のメンバーをはじめとした多くの組織の協力によって新鮮な海産物や農産物のほか多種多様な商品を揃えた魅力ある朝市のおかげで、毎月1回と短時間ではあるが中心市街地に賑わいを取り戻すことに成功している。

■ 宮崎県都城市

総人口：168,554 (人)
世帯数：70,958 (世帯)
総面積：653.8 (km²)
人口密度：257.8 (人/km²)
(平成22年3月1日現在)

■ 都城市中心市街地

平成14年に商店街の核となっていた大型店が撤退、郊外への大規模店舗の出店もあり、中心市街地への来街者数が減少。活性化策として区画整理等が行われたが、来街者数や売上の回復には至っていない。



背景ときっかけ

それまで商店街の集客の核となっていた大型デパートが平成14年に撤退、また平成14年、15年に相次いで郊外に大型ショッピングセンターが出店したことで都城市中心市街地への来街者数が減少、商店街の各個店もそのあおりを受けて売上の減少に悩んでいた。市では活気のなくなった中心市街地に人通りを取り戻そうと、土地区画整理事業等の市街地整備に加えて商業活性化に寄与する事業を順次実施してきたが、人通りや売上の回復には至っておらず、整備された基盤を活用して、街に人を呼び込む新たな仕掛けが求められていた。

都城商工会議所では、市民アンケートや他地域での取組を参考にトラックによる「朝市」を企画、実行委員会を結成して出店者の確保に取組、以前より地域経済活性化協議会を立ち上げていた志布志市、串間市等に協力を依頼、都城市や観光協会などの協力もあって発案から僅か3ヶ月で開催に至った。

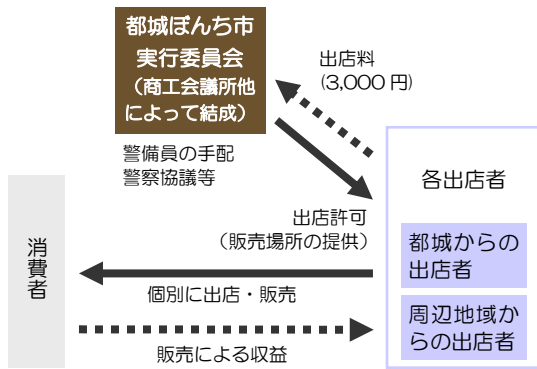
取組内容

都城市中心市街地に人を呼び戻し、商店街の活気を取り戻すことを目的に、毎月1回、市内の東中町通りで、農家や業者等の出店者がそれぞれ軽トラックで持ち込んだ商品を販売する「ぼんち市」を開催している。それぞれの地域から新鮮な海産物や農産物のほか多種多様な商品が持ち込まれ販売されているが、都城は盆地であるため集客の目玉として海産物は特に重要視されており、活性化協議会のメンバーである志布志市や串間市に依頼して新鮮な海産物を取り揃えるようにしている。

- 名称：都城ぼんち市（平成20年10月開始）
- 運営：都城ぼんち市実行委員会（事務局は商工会議所／運営補助として他組織からの当日スタッフの支援有）
- 開催地：都城市内 東中町通り(大丸デパート裏)
- 出店数：長さ400mの道路の両側2、平均して毎回80から90台が出店
- 販売品：農産物、海産物、畜産物、菓子類、木工加工品、種苗、日用雑貨、やきそば・クレープ等の飲食物
(出店規約では各地域の農林水産物、同製造加工物、工芸品となっており、地元都城市のほか宮崎市、門川町、綾町、延岡市、高鍋町、串間市、日南市に加え、鹿児島県曾於市、志布志市からも出店される)
- 販売方法：軽トラック1台(3m×6m)あたり3,000円の出店料を払って出店
トラックの荷台や道路わきに商品を陳列し販売
- 営業時間：毎月第2日曜 午前8時から午前11時
- 販売員：各出店者が各自で販売



事業の仕組み



※実行委員会の事務局は商工会議所が務める
1回あたり24万円程の出店料収入があるが、警備員費用に約15万円かかっている
※H21年度のみ市から広報費の補助有(100万円)



取組効果

- 毎回1万人程の集客があり、短時間ではあるが中心市街地に活気が取り戻されている。
- 店舗を持たない農家でも可能な販売形式であり、所得の向上につながっている。
- 近隣の既存店舗が触発され新商品の販売を始めるなど、地元商業者の意識が改革された。
- 地元の人が地元の農産物等について知ることにつながっている。
- 地元企業や地元商品のPRの場としても利用でき、マーケティングに活用されている。
- 出店業者間の交流も生まれている。



取組上の工夫

- 出店場所を毎回ランダムにすることで、買物客が目当ての店を探して歩き回る途中で他の店舗でも買い物をするように仕向けている。
- 出店規約により安全・安心な商品のみを取り揃えるようにしている。
- 通りを歩行者天国にし、各所に警備員を配置するなど買物客の安全を徹底している。
- 通りの中間にある信号を、警察協議により朝市開催時のみ点滅信号にすることで回遊性を高めている。(安全性は警備の強化によって解決)



今後の展望

- 短時間とはいえ通りには多くの人が集まるが、周辺商店街へと流れる買物客は多くはない。まだ具体案はないが、朝市に来た買物客を周辺商店街の個店に誘導する仕組みをつくりたい。
- 朝市と連動したイベントの開催等により、より多くの集客を得るようにして、採算性を高めたい。



ほんち市の様子



販売の様子



販売の様子



同時開催されたイベントの様子